

第51回全日本バトワーリング選手権東海支部大会競技規定・審査規定

第51回全日本バトワーリング選手権東海支部予選

第7回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会東海支部予選

競技規定・審査規定

1) 第51回全日本バトントワーリング選手権大会競技規定・審査規定に準ずる。

順位・選考に関する規定

1. 審査

1) 審査員は次の通りとする。

①選手権6種目は日本バトン協会公認審査員が行う。

2) 審査員長・審査副員長

①審査委員長1名、副審査委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

3) 審査員・ペナルティ審査員

①審査員は3名～5名とする。

②選手権6種目のペナルティ審査員は、1名とする。

ペナルティ減点についてはペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

2. 順位・選考

① 審査員3名または5名により10点法（小数点第2位）で採点を行う。

② 準々決勝は審査員3名とペナルティ審査員1名で行う。

ア) 同部門を複数コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティを差し引いた点数合計の高い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

イ) 単一コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。席次点合計の低い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

③ 準決勝及び決勝は審査員3名～5名とペナルティ審査員1名で行う。

・審査員が3名の場合

ア) 同部門を複数コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティを差し引いた点数合計の高い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

イ) 単一コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。席次点合計の低い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。

・審査員が5名の場合

各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。

ア) 換算した席次点の最上位・最下位を除いた合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

イ) 準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

・決勝は審査員5名とペナルティ審査員1名で行う。

- ア) 換算した席次点の最上位・最下位を除いた合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- イ) 決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。
 - 優先順1 審査員全員の席次点合計の少ない方を上位とする。
 - 優先順2 ペナルティ減点後の全審査員の最高点・最低点を除いた点数合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
 - 優先順4 さらに同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。ただし、1位及び全日本進出に関わる場合は、5名の審査員の投票により決定する。

2026年IBTF世界フリースタイル・リズミックトワール選手権大会

日本代表選考会 東海支部予選 審査規定・競技規定

競技規定・審査規定

1) 2026年IBTF世界フリースタイル・リズミックトワール選手権大会日本代表選考会
競技規定・審査規定に準ずる。

順位・選考に関する規定

1. 審査

1) 審査員は次の通りとする。

IBTF公認審査員が行う。

2) 審査員長・審査副員長

①審査委員長1名、副審査委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

3) 審査員・ペナルティ審査員

①審査員5名により採点を行う。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

2. 順位・選考

① フリースタイル個人は10点法（小数点第2位まで）、フリースタイルペア・フリースタイルチームは100点法（小数点第1位まで）により採点し、得点とする。

② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順1 各審査員の得点より、席次を算出し全審査員の席次合計の低い方を上位とする。

優先順2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。

優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

優先順4 さらに、同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。ただし、1位及び全日本進出に関わる場合は5名の審査員の投票により決定する。